

茅十六日  
明月之會

平成二十六年五月五日(月・祝)

午後二時半始

於・国立能樂堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷四一八―二  
☎〇三(三四二二三)―二三三二

法皇 梅若万三郎

能 大原御幸 加藤 眞悟

仕舞 難波 梅若万佐晴

仕舞 笠之段 梅若 紀長

仕舞 山姥 観世 喜正

狂言 樋の酒 野村 万作

半能 融 加藤 眞悟

# 第十六回 加藤真悟明之會

平成二十六年五月五日(月祝)  
午後一時半始  
於・国立能楽堂

解説

表きよし  
(国立能楽堂)  
(21世紀アジア学部教授)

(一時五十分頃)

## 大原御幸

能

シテ 女院 加藤 眞悟  
ツレ 法皇 梅若 万三郎  
ツレ 大納言 青木 健一  
ツレ 阿波内侍 梅若 泰志  
ワキ 萬里小路 安田 登  
ワキ 大臣 井藤 鉄男  
ワキ 與昇 野見山 光政  
ワキ 與昇 吉田 祐一  
供人 内藤 連  
笛 松田 弘之  
小鼓 幸 信吾  
大鼓 龜井 広忠  
後見 梅若 紀長  
中村 梅若 万佐晴  
中村 政裕 遠田 修  
古室 知也 伊藤 嘉章  
梅若 雅一 観世 喜正  
長谷川 晴彦 八田 達弥

休憩 二十分

仕舞

## 難笠山 波段姥

クセ

梅若 万佐晴  
梅若 紀長  
観世 喜正  
古室 知也  
伊藤 嘉章  
青木 一郎  
梅若 泰志

## 樋の酒

狂言

シテ 太郎冠者 野村 万作  
アド 主 飯田 豪  
アド 次郎冠者 石田 幸雄

(四時四十分頃)

## 融

半能

十三段之舞

シテ 源歌の靈 加藤 眞悟  
ワキ 旅僧 福王 和幸  
笛 藤田 貴寛  
小鼓 鶴澤 洋太郎  
大鼓 大倉 慶乃助  
大鼓 観世 元伯  
後見 山中 迺晶  
梅若 万佐晴

(終了時間五時二十分頃)  
主催 加藤真悟明之會

### 事前講座のご案内

本公演の見所などについて解説いたします。

日時 4月20日(日) 午後2時〜4時

会場 眞謡会田端教室稽古場

(東京都北区田端3-21-5)

講師 加藤真悟

参加費 1,000円

(チケット購入者・友の会会員は半額)

おはらごころ 壇の浦で入水した建礼門院(シテ)は源氏の兵に救われ、京都大原寂光院に出家し、今は寂しく安徳帝をはじめ平家一門の菩提を弔っている。ある日、建礼門院と大納言の局(ツレ)が仏前に供える櫛などを取り山に入っている(中入り)と、後白河法皇(後ツレ)が訪れる。留守居の阿波の内侍(ツレ)と女院の掃りを待ち、平家一門の最期の様子などを尋ね、女院は涙ながらに合戦の様子を語り、やがて法皇は還幸され、寂しく見送る。

主人が外出する際、太郎冠者には米蔵、次郎冠者には酒蔵の番をするよう樋の酒に言いつける。次郎冠者は早速酒を飲み始めるので、太郎冠者がうらやましがると、次郎冠者は太郎冠者がいる米蔵に窓越しから樋(こし)を使って酒を飲ませていると主人が帰ってくる。

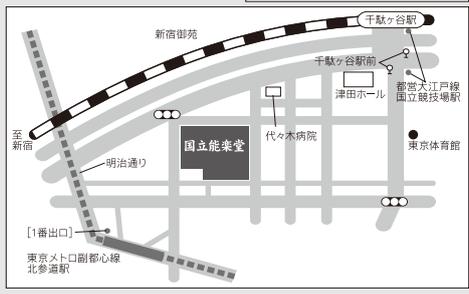
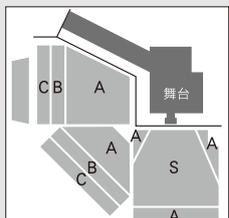
### 融

旅の僧が京都につき、六条河原院で休んでいると田子を担いだ老人(前シテ)がきてこの汐汲みだといふ。ここは左大臣源の融の旧邸で東北地方の塩釜の浦の景色をしのんで難波の浦から邸内の御池へ海水を運ばせ、塩を焼かせて楽しんだと物語る。京都の名所を教えるなどして、ふと塩汲みの真似をしていると姿が見えなくなった。(中入り)僧が弔っている融の霊が現れで舞(早舞)を舞う。月景色の中でやがて夜明けとなり融の姿は消え去る。この度は半能なので中入り前の前半が省略されます。十三段之舞という小書きがあるので、舞に緩急が付きたっぷり舞われます。



加藤真悟(かとうしんご) 昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本大学文学部哲学科卒。在学中に現万三郎師に師事し、梅若万三郎家に内弟子入門。昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。各地にて能の普及に尽力。海外公演多数参加。平成25年新作能『将門』梅若万三郎監修、小林保治作初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會(自主公演)を開催する。一方眞謡会を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。

【入場料】  
指定席S 九,000円  
指定席A 七,000円  
指定席B 五,000円  
指定席C 三,000円  
学生割引 各一,000円引き  
(25歳まで)



【お問い合わせ・お申し込み】  
●加藤真悟 ☎045(481)8704  
ホームページ <http://shingo.from.tv>  
携帯Eメール [shingo55kato@ezweb.ne.jp](mailto:shingo55kato@ezweb.ne.jp)  
●梅若研究会 ☎03(3466)3041  
入会金 一,000円/年会費 一,000円  
特典  
・明之會公演の入場料一割引(一会員三席まで)  
・会報や演能 勉強会のお知らせなどお届けします  
写真真「大原御幸」梅若万三郎/写真真「融」加藤真悟 撮影・前島吉裕

能を知る  
愉しみ

### 能楽体験講座

能の話、謡と舞の基本の型の体験をします

『鶴亀』を謡ってみよう

日時■平成26年5月29日(木)、6月26日(木)、7月24日(木)、8月7日(木)、9月4日(木)、10月2日(木) 各正午〜1時30分  
会場■眞謡会田端教室稽古場 北区田端3-21-5(駒込駅徒歩7分)  
講師■加藤真悟  
受講料■20,000円(6回)、教材費3,780円(観世流初心本(上)五番綴。又は鶴亀一番の1,500円も可)別途  
●ご予約・お問い合わせ ☎045-481-8704 加藤真悟